

執筆者紹介

柚木かおり	関西外国語大学（非）
塚崎今日子	札幌大学
越野 剛	日本学術振興会特別研究員
Alexei Palkin	大阪大学言語文化研究科院生
鈴木 正美	新潟大学人文学部
岩本 和久	稚内北星学園大学情報メディア学部
宮風 耕治	大阪労働局
鳳 英里子	東京大学工学系研究科院生
伊賀上菜穂	大阪大学（非）
中野 徹	北海道大学文学研究科院生
応 雄	北海道大学文学研究科
中根 研一	北海道大学文学研究科専門研究員



スラブ・ユーラシア文化研究会 共産圏の日常世界

日時：2007年8月4日(土)・5日(日)

場所：スラブ研究センター423号室

■ 8月4日(土) 10:20-18:00

10:20-10:30 開会挨拶・趣旨説明

10:30-12:00 第1セッション 宗教と日常のくらし

伊賀上菜穂「ソ連農村生活の一断面としての『移動』：ブリヤート共和国ロシア正教古儀式派村のケースより」

長島大輔「社会主義ユーゴスラヴィアにおける宗教生活」

司会・討論：渡邊日日・高橋沙奈美

12:00-13:00 昼休み

13:00-14:30 第2セッション 初祭と熱狂の日々

宮風耕治「1980年代ロシアSFファンタムの構造と変動」

鈴木正美「1960-80年代のジャズ・フェスティバルと聴衆」

司会・討論：後藤正憲

14:30-14:45 コーヒーブレイク

14:45-18:00 第3セッション 中国における共産主義イデオロギーと日常生活

武田雅哉(司会兼)「よいこの文化大革命」

応雄「映画『千万不要忘記(くれぐれも忘れぬよう)』(1964年)と『道徳的マゾヒズム』: 切断としてのイデオロギー」

中野徹「英雄の読まれ方: 小説『鉄道遊撃隊』の受容について」

中根研一「中国の怪獣〈野人〉と〈水怪〉: 現代中国を徘徊する妖怪イメージ」

(映画上映)

懇親会

18:30-

■ 8月5日(日) 10:30-17:00

10:30-12:00 第4セッション 共産圏と異界

塚崎今日子「ソ連時代のアネクトート」

柚木かおり「ポストスターリン期における組織的な日常娯楽の盛衰: 楽器パラライカガの事例から」

司会・討論：桜間咲

12:00-13:00 昼休み

13:00-14:30 第5セッション 政治の影響下にみる日常生活

風英里子「壁面を彩る: ウズベキスタン共和国タシケントのハナル式住宅の装飾事例: 装飾モチーフ・技法に見るイデオロギーと文化的嗜好の関係」

平谷史郎「フルシチョフ時代の音楽ハレエ家の出国と亡命」

司会・討論：梅津紀雄・松戸清裕

14:30-14:45 コーヒーブレイク

14:45-17:00 第6セッション 表象の世界における日常性

アレクセイ・バルキン "Games of Russian Pre-school Children in Soviet and Post-Soviet Periods: Comparison"

越野剛「ソ連の学校における女の子の物語文化」

岩本和久「キラ・ムラートヴァの映画と日常生活」

司会・討論：望月哲男

*ご関心のある方の参加を歓迎いたします。

主催：21世紀COEプログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」/
科学研究費基盤研究A「スラブ・ユーラシアにおける東西文化の対話と対抗のパラダイム」

企画運営：高橋沙奈美 (takahashi.sanami@gmail.com)
望月哲男 (tetsuo@slav.hokudai.ac.jp) TEL: 011-706-3801